



特集 その後どのように暮らしていますか？

四季に寄り添う庭との暮らし

特集 その後どのように暮らしていますか？

四季に寄り添う庭との暮らし

小金井市 | K邸(ご夫婦2人+子ども2人) | 木造一戸建て



1

家づくりストーリー

今回ご紹介させて頂くのは、自然あふれる緑道沿いに建つお住まい。こちらに住みはじめてから2年が経つK様に、現在の暮らしぶりを伺いました。

まず目に飛び込んでくるのは素敵なお庭。なんと、ウッドデッキや薪棚をはじめ、お庭を含めた家の外構はK様ご夫婦がご自身でつくられたとのこと！

「物心がついたときから植物が大好きでした。学生時代も造園について勉強して、今は主人と一緒に[※]造園屋に勤めています。『いつかは自分の家を持ちたい……!』と思いはじめたのは、働きはじめた頃からですね。長い期間いろいろ夢を膨らませていました」と語る奥様。その後、本格的に家づくりを考え、土地探しの中でこの緑いっぱい土地に出会ったのです。

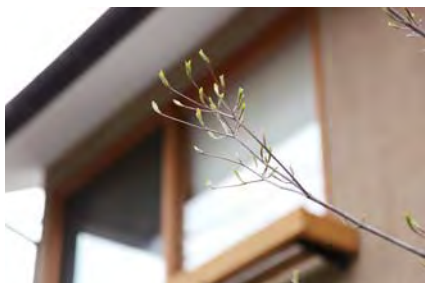
※アルテ造園さん(東村山市)



ウッドデッキはお花見やお月見をしたり、四季折々の景色を楽しむ贅沢なスペース

2

景色を眺める2階リビング



窓から見える車の流れに、乗り物好きのお兄ちゃんも大喜び。

大好きな車が通るのが見えるよ！



薪ストーブ:デンマーク SCAN

無垢材(赤松)の床で妹ちゃんも気持ちよさそう!

「緑道沿いの景色を楽しみたい」というK様の希望から、リビングは南側ではなく、あえて眺めの良い北側を選択。さらにL字窓にすることでより明るく開けた印象になっています。「1日の始まりは窓からの景色を眺めています。四季や日々の変化を感じられて、今ではそれが毎日

の楽しみになっているんですよ」と笑顔の奥様。木々の並びだけでなく、川の流れや車の通り、サイクリングやお散歩している人、そんな日常の何気ない風景も一緒に眺められるのが嬉しいというお話もされていました。また、住み替えてから1年の大半を素足で過ごすようになったとい

うK様。夏は扇風機と窓を開けて風通しを良くして過ごし、冬は薪ストーブとOMソーラーを利用することで、裸足のままでも気持ち良いエアコンいらずの生活をされています。家の中だけでなく、外の景色や自然の力を上手に取り入れながらの環境にもやさしい素敵な暮らしです。

3

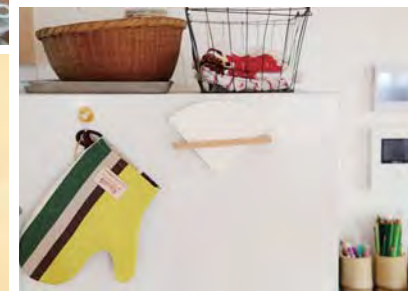
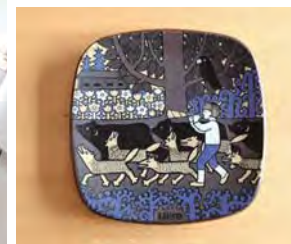
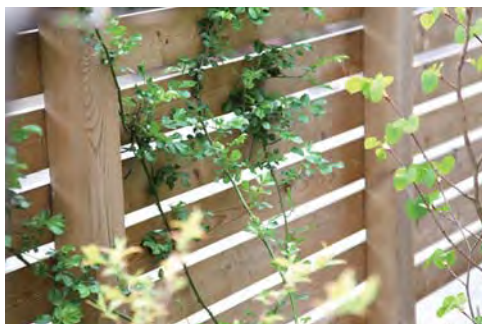
まわりの景色に合う植栽



緑道沿いに合ったナチュラルな雰囲気な植栽を選んで庭づくりをしているというK様。山野草をはじめ、自然と生えてきたというスマレやオダマキも可愛く植えられていました。また、パーゴラ風の薪棚は外から見た時も素敵に見えるように……とツルバラを這わせていたり。「庭を見て声をかけてくれる方もいて、そんなつながりを大切にお庭をつくっていきたいです」とニコリ。



玄関アプローチは経年するほど味わい深くなる大谷石を使用。「石と土の中間的な素材感がとても大好き」とのことです。K様もお気に入りの素材。



4

お気に入りの飾る

棚の扉をなくして、お気に入りの食器やお鍋を見せられるようになっている2階キッチン。そして階段には家族みんなで作る本棚がつくられていました。飾られているものはどれも素敵で、奥さまが旅先の民芸館で見つけた小物や友人からの頂き物の食器など、一つひとつに物語がありました。

取材後記

普段家の中にいると見逃してしまいがちな季節の小さな変化。K様のおうちではそんな小さな移り変わりも、じっくりと感じることができるような時間の流れがありました。家の中と外とが交わると、こんなに心地の良いものなのだと感動でした。(記: 広報 吉川)



アルテ造園 <http://arte-zouen.com/>

取材: 伊藤・吉川・遠藤 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>



特集 その後どのように暮らしていますか？

薪ストーブのある暮らし





特集 その後どのように暮らしていますか？

薪ストーブのある暮らし

埼玉県ふじみ野市 | 遠藤邸(ご夫婦+お子様3人) | 木造一戸建て

1

家づくりストーリー

～家を建てようと思います～

私の住んでいる家は祖父が45年ほど前に建てた家です。小学2年生の夏、祖父母の住むこの家に引っ越してきました。両親と弟と私、合わせて6人の暮らしが始まりました。私の幼少期の記憶にはずっとこの家があります。いろいろな思い出が詰まったとてもほっとする空間です。

でも、そろそろ不具合も多くなってきています。家が傾いていたたり、設備類の交換の頻度も上がってきたり、子たちのスペースがなかったり。夏は焼けた屋根瓦の熱気が暑く、冬は外気と同じくらいまで冷えてしまう。灯油を週に3缶も消費してしまうのに、納戸のビールは冷蔵庫より冷えている。それでも絶対的な安心感があること、それと背負っている歴史の大きさに対する畏敬の念から建替えることを進めることはありませんでした。しかし、構造的な不安を目の当たりにしている今、この家を建替える決断をしました。古き良きものへの想いを忘れずに、今いる家族のために計画を進めていきます。

遠藤のブログ「my家 your家」2011年6月より抜粋
(<http://aibaendo.exblog.jp>)

今回は家を建替えて2年が経過した、相羽建設営業部、遠藤の自宅「ミズニワハウス」をご紹介します。

2004年から綴られている彼のブログ「my家 your家」を覗くと、以前の家での楽しい暮らしぶりや愛着が伝わってきます。

彼は、2011年の東日本大震災をきっかけに建替えを考えはじめたそうです。

新居には、以前の家の気持ちの良いスペースが受け継がれるとともに、家族で楽しむ要素がたくさん詰め込まれ、世界に二つとないこだわりの家づくりになりました。

2

たくさんの出会いをつめこんで

建築士の資格も持っている彼ですが、自分の家となると、客観的に設計するのは難しいと考えました。そこで相羽建設とつながる建築家、しまだ設計室の島田さんに依頼することに。

この家の1番のみどころは、陽がたっぷり入る吹き抜けのダイニングスペース。その傍らに薪ストーブ、揺れるカーテンの先には水庭が広がります。将来、南側の隣地に建物が迫っても心地よさが確保できるよう、窓の配置に少し角度がつけてあります。また、キッチンにはアイアン素材のカウンター天板と手元の目隠し。定期的なオイルでのメンテナンスで、素材の深い味わいが増していきます。

多くのお客様と出会い、家づくりをサポートしてきた遠藤。自らの家では、これまでの仕事で知り得た、こだわりの材料や製品がたくさん使用されています。また、今後のお客さまの住まいにも活かせるよう、新しい材料や実験的な試みも盛り込まれた、みどころ満載の家づくりになっています。



ミズノハハウス 設計:しまだ設計室 島田貴史



ダイニングチェア…karf

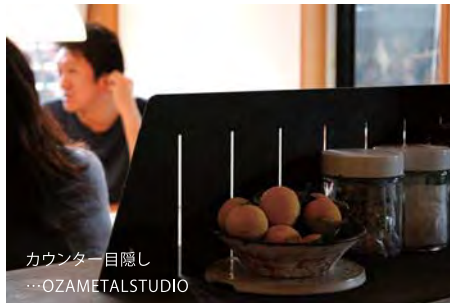
テーブル…laboratory

薪ストーブ…
バーモンドキャスティング社/アンコール(レッド)

家族の趣味、バイクレース(MotoGP)。家の至る所にグッズや写真が並んでいます。



カウンター目隠し
…OZAMETALSTUDIO



ガルバリウム鋼板の外壁と外灯、OZAMETALSTUDIOさんの表札が似合います。

3 住まいの見どころ紹介



手慣れた様子で薪割り

▲ 薪ストーブを楽しむ

「お客さまの家で実際に見て魅力にハマった」という薪ストーブ。子どもたちが森で集めてきた松ぼっくりを着火剤にして火を点け、温度が上がってくると、ストーブ本体の赤い色が濃く変化します。「ピザ・焼きリンゴ・ホイール焼、おでんの保温で使ったりもできますよ」と奥さま。薪ストーブのある生活になり、薪割りは男の趣味のひとつに。庭に設置した薪棚には3年先に使う薪まで乾燥されながら出番を待っています。



ホカホカ /



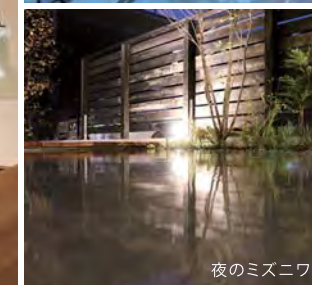
薪ストーブで焼き芋も!

ミズニワ ▶

「ミズニワハウス」という名前の由来はこちら。敷地の南西角に設けられた水盤。水の揺らめきが反射してダイニングの天井に映り込む様はととても贅沢です。夏はデッキとミズニワでBBQやお酒を楽しんだり、水を張った水盤に足を入れればひんやり夕涼みもできます。



作家・永島義教さんによる
銅製の吐水口



夜のミズニワ

◀ 洗面浴室

男女のお子さんのいる遠藤家では、洗面室と脱衣室を分けて計画。廊下に面した洗面室は3人並んで支度ができる広いスペース。浴室は相羽建設の施工ではめずらしい珪瑯の浴槽と十和田石を採用した、まさに温泉宿のような仕上がり。「OMソーラーの効果が及ばないくらいだから、冬場は足元が寒いけどね…」と。



洗面浴室撮影：西川公朗

取材後記

今回の特集だけでは伝えきれない程、見どころがたくさん詰まった家。新たな家での生活も思い切り楽しんでいる遠藤は、担当のお客様を自宅に招くこともしばしば。「興味ある方はいつでもご案内しますよ!」とのこと。ブログ『my家your家』の 카테고리『my家づくり』でも熱い想い、暮らしを楽しむ様子を覗くことが出来ます。(記: 広報 河野)



設計: しまだ設計室 → <http://kazunoki.com/>

取材: 河野・吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>





特集
「ヒノデハウス」
薪ストーブのある暮らし



- 特集 (P.2-5)
「ヒノデハウス」
薪ストーブのある暮らし
- 東京楽しい暮らしぶり展 (P.6)
- あいばこ通信 (P.7)
- 「薪ストーブのある暮らし」
モデルハウスオープン (P.8-10)
- 住まい手さんの家
バス見学会 (P.11)
- いちおし!リレー (P.12)
- ainohaのあるお店 (P.13)
- information (P.14-15)

その後
どのように
暮らして
ますか?
薪ストーブ
のある暮らし

もうファンヒーターにはもどれない!

薪ストーブの特集ということで取材をお願いさせていただいた
I様。うかがってすぐに聞いた言葉は『灰とか大変だよ』という言
葉でした! ?もしや、実は大変であまり使われていないのかしら?
と一瞬びっくりしてしまいましたが、お話をうかがっていると、
やっぱり違いました。薪ストーブの心地よさを一度知ってしまう
と、もうファンヒーターには戻れない。少くらい大変でも、受け
る恩恵の方が大きいからむしろ焚きたい。毎年冬に向かう季節
になるといつ火をいれようかと、そわそわしてしまう!というお話
に、やっぱり薪ストーブってすごい!みんな虜!と思ったのです。

娘さんがストーブに近づきすぎてしまうことはありませんか?と
おたずねしてみたのですが、薪ストーブの周りのタイルのところ
には入らないそうです。入ってはいけないことを教えたら、きち
んと理解して大丈夫だったそうです。きっと感覚で熱いことを感
じてもいるから近寄りすぎないのでしょうね。けれど、最近では元
気いっぱい、たまにタイルの端っこを横切ってしまうことがある
のだとか。笑

吹抜けと大きな窓のある贅沢な眺めの居間(右写真)には木製
の建具や板張りの天井、広めのデッキもあります。この広い空間
が実現できるのもまた、薪ストーブの恩恵の1つですよ!



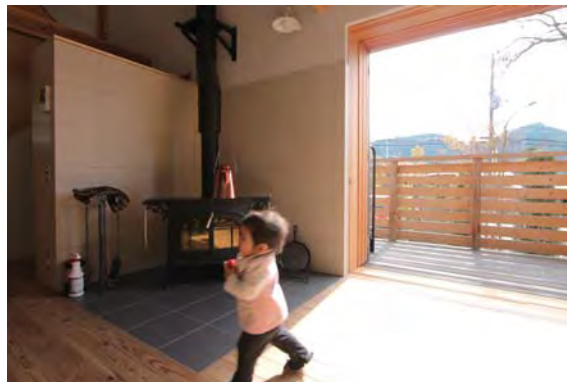


様のご自宅にある薪ストーブはバーモントキャストイングス社のアンコールという種類。大きな機種なので炉内も広く、大きな薪そのまま入ります。夜寝る前に大きな薪が入るのが、暖かさが長く続いていいそうです。

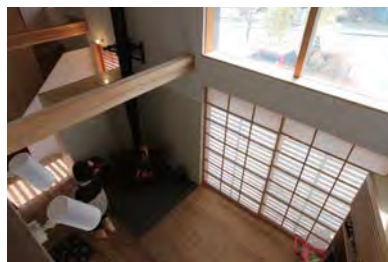
また、炉内が広いのでお料理にも大活躍!ストーブの設置をお願いしたファイヤーライフで、エノキとバターのホイル焼きというシンプルなのにとってもおいしい料理を食べた時は感激した!と奥さま。カレーもおもちもどんな料理も薪ストーブにまかせると美味しくなる!気がするそう。特に美味しいのはやっぱりピザなんだそう。取材の日には焼きリンゴをいただきました!



お庭には、ご主人お手製の薪置き場が何箇所もありました。薪置き場の屋根にもきちんと勾配がついていて、雨や霜から薪を守る仕組みもばっちりです。乾燥した薪のほうが煙も出にくいので少しの屋根でも意味があるのだそう。



ヒノデハウスに魅力を加えているもうひとつの仕掛けに、木製の建具があります。薪ストーブの横の掃き出し窓は開けるとすっきりと壁のほうに納めることができ、デッキとつながることができます。



2階から居間を撮影した写真。OMソーラーと薪ストーブがあるおかげで大きな吹き抜けと大きな窓がある空間も寒くない。



(上左) 破れちゃった障子も思い出かな♪ (上右) 木製の玄関扉の他に網戸の張ってある木の横棧の扉があるので夏には風が抜けて、これもまた気持ちよさそう!



OMソーラーのタッチパネルで、外気や室内の温度を朝晩チェックするのがご主人の日課でもあり楽しみでもあると、取材時にもパネルを見ながらお話してくださいました。

寒さが苦手だから暖かい家に住みたかったとお話される奥さま。薪を調達しに行くのが少し大変ですが、とお話されながらも薪ストーブのある暮らしをごく自然に取り入れているご夫婦に、本当に豊かで素敵な暮らしだなあと感じて帰ってきたのでした。

(文/ 総務 釘宮)



ヒノデハウス(設計:しまだ設計室)の施工例は相羽建設ホームページでご紹介中です。9024:しまだ設計室「ヒノデハウス」

ご紹介しきれなかった取材の内容はブログ「ainoha」でご紹介しています <http://ameblo.jp/ainohablog/>



特集:その後、どのように暮らしてますか?

「薪ストーブのある木造ドミノ住宅」



- その後、どのように暮らしてますか?(P.2-5)
—薪ストーブのある木造ドミノ住宅—
- あいばこ通信(P.6)
- 東村山市民産業まつり(P.7)
- いちおし!リレー(P.8)
- ainohaのあるお店(P.9)
- information(P.10-11)

薪ストーブのあるお家の取材!! なのに・・・

少しずつ涼しくなってきた、11月号なので、薪ストーブのあるように取材をお願いしました。にもかかわらず、アプローチの植栽があまりにかわいくて、なかなか呼び鈴にたどり着かないわたし。薪ストーブももちろん気になるけれど、どうにもかわいいこの植物たちが気になってしまい、自己紹介もそこそこに、奥様とひとしきり草花談に花を咲かせてしまいました。

もともと植物がお好きだった奥様。ご自分で植えたい植物を楽しまれていたそう。けれど、シンボルツリーになるような大きな木や、土地や気候に合う植物のアドバイスはプロにお願いしたいと思っていたときに、完成見学会で見たお庭に一目惚れして、同じ造園家さんをお願いすることに。もともとあった植物を活かして手を入れてもらったところ、木も元気になったような気がするとお話してくださいました。造園家さんのアドバイスをもとに、ご家族で植込みをした駐車場も、とってもかわいく仕上がっていました。



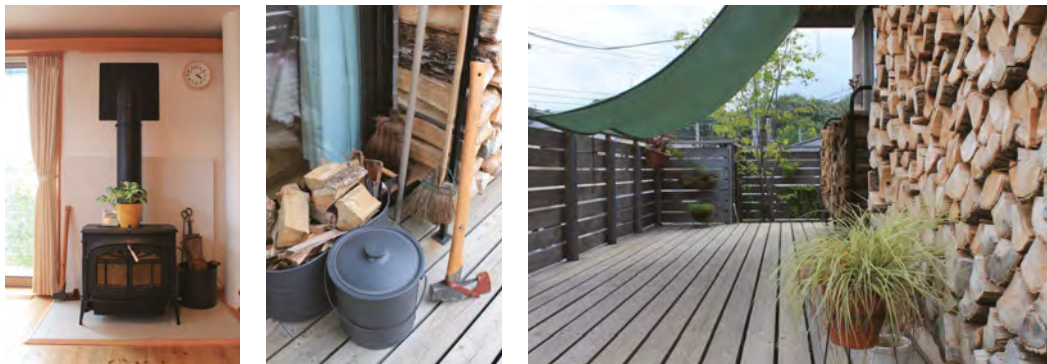
その後
どのように
暮らしてますか?

—薪ストーブのある

木造ドミノ住宅—



薪ストーブのあるリビングでは、家族がそれぞれの居場所で楽しめますね。
キッチンカウンターの上のキッチンツールはダルトンのハンギングポットラックに下がっていました。



薪ストーブとツールが置かれた雰囲気はとってもかっこいいです！薪を置くラックや調理器具を選んでいくのも楽しそうです♪ピザを焼いたりして楽しむこともあるそうです。

この日は夕方からの取材だったこともあり、あいにくの空模様ですが、明るい色味のガルバリウムの外壁にすっと伸びる煙突が効いています。



この場所を選んだ理由として、分譲地だったので、同じ時期に建てる人がいるというのは心強いかんと思ったということをお話していただきました。近所にはお子さんのお友達もたくさんいて、取材にうかがったこの日も、ひっきりなしにお客さんがきて楽しそうに遊んでいました。それから、近所に素敵なパン屋さんがあったことも魅かれたポイントだったそうです♪



スイッチプレートが並ぶ壁にちよこんというフクロウさんがとってもかわいい。



キッチンの裏にあるパントリーはかごをそろえて収納されているので、すっきりしています。



そしてまた、ほっこりおいしいマフィン、ごちそうさまでした。



2階は将来子供部屋に仕切れるように最低限の準備だけしながらも、現在はひろーい空間です。
(文/総務 釘宮)

ご紹介しきれなかった取材の内容はブログ「ainoha」でご紹介しています
<http://ameblo.jp/ainohablog/>